学校番号	3034

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「改訂版現代文Ｂ」（数研出版）						
副教材等	ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）入試頻出漢字 TOP2500（いいずな書店） ・「現代文　共通テスト＋センター試験国語過去問題」（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「現代文」では、さまざま文章の読解を通して、多面的な視点を獲得し、現代の社会を主体的に生きる力を育むこと、また、自分が感じたことや考えたことを、相互に発表し合う活動を通して、自身の人生を豊かにする力を育成することをねらいとしています。日常生活でも、読書などを通して、グローバルな世界で主体的に生きていくための素養を身につける努力を続けてください。
・「現代文」では予習が何より大切です。新たに学習する文章は、必ず自分で読み、語句の意味を辞書で調べること。わからない箇所を明らかにして授業に臨んでください。指示語の確認や教科書に掲載されている「学習の手引き」の問題を自分で解いてみましょう。授業では、考えたことや感じたことを積極的に表現すると同時に相手の表現を理解することをこころがけてください。

２　学習の到達目標

１．近代以降のさまざまな文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
２．近代以降のさまざまな文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
３．進んで読書し、表現することによって国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （原稿提出用紙等）	記述の確認及び分析（ノート等） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	評論一	教材: 西垣通 「知識社会という幻想」 小浜逸郎 「人はなぜ働かなくてはならないのか』	○			○	○	a:文章の読解を通して、近代から現代にかけての変化の中で生きる人間の在り方について、考えを深めようとしている。 d: 文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。 e: 語句の意味や用法の理解と、文章の組み立ての把握によって、筆者の論理の展開を正確に理解しようとしている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査
	小説	教材: 森鴎外 「舞姫」	○	○		○	○	a: 文語体の文章の意味を正確に理解し、文章のリズムや響きを味わい鑑賞しようとしている。 b:登場人物の心情や行動、その生き方について意見を交換し合っている。 d:日本の近代という時代背景との関わりにおいて作品世界を理解しようとしている。 e: 作者の思想や作品について、理解を深めている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査
	評論二	教材: 岡真理 「『文化が違う』とは何を意味するのか」 丸山真男 「『である』ことと『する』こと」	○		○	○		a:文化や言語についての評論を通して、日常を新たに見直す視点を得ようとしている。 c:読み取った本文の内容を、的確な表現でわかりやすく説明できている。 d:具体から抽象へと展開していく論理的な構成に従って、筆者の主張を正確に読み取っている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査
	評論三	教材: 山田登世子 「メディアのテロル」	○		○	○		a:現代社会というものを、より深く認識しようとしている。 c:筆者の主張を踏まえながら排他的社会について自分の考えを深めている。 d:「経験」と「分節化」という概念を正確に読み取っている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査

	詩歌一	教材: 短歌 俳句	○	○			○	a: 短歌や俳句に興味を持ち、想像力を育みながら作品世界を味わい、鑑賞しようとしている。 b:作品世界について、自分が感じたことや考えたことを発表し合うことによって、思考を深化させている。 e:短歌や俳句の表現技法や表現効果について、的確に理解し、説明することができる。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
後期	評論四	教材: 小林秀雄 「無常ということ」	○			○	○	a:読むことを通して思考力を伸長する態度を身につけようとしている。 d: 構成を確かめながら、筆者の主張を読み取っている。 e:段落相互の関係を理解している。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査
	問題演習	教材: 「共通テスト＋センター試験国語過去問題」	○			○	○	a:自身の進路を見据え積極的に取り組んでいる。 d:文章や資料の内容を総合的に理解し、出題者の設問の意図に即した、正確な読み取りができている。 e:文脈の中での語彙の意味の理解や、文章読解に必要な知識の定着ができている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査

※　表中の観点について　　a. 関心・意欲・態度　　b. 話す・聞く能力　　c. 書く能力

d. 読む能力　　e. 知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。